

授業科目 言語聴覚障害概論Ⅱ

【担当教員名】 市島民子、大橋 靖、亀田和夫、磯野信策、 山口富一	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>

言語聴覚障害概論Ⅰに引き続き、多様な種類の障害について概観し、専門課程における各論学習のための導入として必要な基礎知識を学ぶことを目的とする。

<学習目標>

1. 小児の言語障害と関連領域の枠組みを理解する。
2. 小児の言語治療の実際を知る。
3. 言語機能と口腔機能、言語障害と歯科医学との関連を理解する。
4. 聴覚障害の定義と種類を理解する。  
聴覚障害学の発展の歴史と現況を知る。
5. 聴覚障害における言語聴覚士の仕事と職場の多様性を理解する。
6. 音声学の枠組みを理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	小児の言語障害とその関連領域 言語の発達とその障害		講義（市島）
2	小児に対する言語治療の流れとチームアプローチ 吃音と速話症		講義（磯野）
3	鼻咽腔閉鎖機能不全に対する歯科医学的アプローチ		講義（大橋）
4	聴覚障害の定義と種類		講義（山口）
5	聴覚障害学の歴史 聴覚障害における言語聴覚士の仕事と職場		
6	人間の音声の成り立ち 音声・言語と脳 聞く仕組み、聞き分ける仕組み		講義（亀田）
7	補講		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	言語聴覚障害総論Ⅰ	倉内紀子編著	建帛社	2001年 2400円
	言語聴覚障害総論Ⅱ	山崎京子編著	建帛社	2001年 2400円
	言語聴覚療法臨床マニュアル	日本言語療法士協会編	共同医書	1995年 9500円
	声と言葉のしくみ	亀田和夫	口腔保健協会	1986年 1600円
その他の資料				

【評価方法】 出席およびレポート、定期試験等により総合的に評価する。	【履修上の留意点】 言語聴覚障害概論Ⅰに引き続き開講するが、授業主題の順序と担当教員は変更されることがある。
---------------------------------------	---